

チャプレンだより

No. 2 / 2014年5月

【発行：関学理工学部宗教主事室】

理工学部宗教主事：前川 裕
©All rights reserved.

「チャプレンだより」2号目をお届けします。ところで『チャプレン』ってなんですか？というご質問を頂きました。「チャペル(chapel)で働く聖職者」のことです。では「チャペル」とは？教会とは違って、学校や病院やホテルなど、施設に付属する礼拝堂を意味します。関学の場合は「学校付属の礼拝堂」という意味でチャペル、そこに勤めている(つまりこの私)のがチャプレン(chaplain)なのです！お見知りおきを〜。

「聖書と礼拝なくして学院なし」

これは関学の第二代院長、吉岡美国(よしおかよくくに、1862-1948)の言葉です。1899年に文部省は、教育からキリスト教を排除する訓令を出しました。聖書と礼拝を放棄しなければ徴兵猶予や上級学校入学資格を与えない、という圧力です。これに対し吉岡は、聖書と礼拝(現在の科目に即せば、キリスト教学とチャペルアワー)がない関西学院など存在意義がない、と言い放ち、自分たちの立場を堅持しました。結果として学生数の減少等、困難な時期を迎えます。苦難を迎えることが分かっているながらも、吉岡はキリスト教主義にこだわりました。それは、日本における「関西学院」の意義と目標がそこにあると確信していたからだと思われます。吉岡の名前は、上ヶ原キャンパスにある「吉岡記念館」(ランバス記念礼拝堂の隣)として残されています。吉岡は今も私たちに「われわれ関学人はどこに立つのか」と問いかけ続けています。

チャペル・アワー案内

「チャペル掲示板」、ご覧いただいていますか？ IV号館1階EV前のチャペル掲示板および4階チャペル教室前に掲示しています。これから理工の先生方や外部の方々のお話もあります。ぜひ興味をもった回にご出席ください！

チャペルではお話以外に、音楽チャペルとして学生団体に演奏していただくこともあります。三田の団体だけでなく、上ヶ原からも来ていただいています。5月には久方ぶり？にグリークラブに歌っていただき、参加者からはたいへん好評をいただきました。その他、ゴスペル・弦楽合奏・ブラスバンドなど、さまざまな団体をお呼びしています。学生活動の様子を、音楽とともにかいま見てくださいませんか？

【聖書のことば】

「仕えられるためではなく、仕えるために」
(マルコによる福音書10章45節より)

これは総合政策学部の聖句です。総合政策学部のHPには、この聖句は「人に仕えられるよりも人に仕えることの内にこそ、人間としての喜びや美しさ、幸いがあることを命をかけて伝えたイエス・キリストの姿に学びつつ、真に他者やこの世界に仕えるための土台を本学部でしっかりと築いていただきたい、という祈りを込めて選ばれたものと思われまふ」との説明があります。前号にて紹介した理工学部の聖句にも「仕える」という言葉がありました。神戸三田キャンパスにある二つの学部がともに「仕える」という聖句の上に立っていることは、関学における教育が依ってたつところをよく現しているのではないかと思います。

この直前、43~44節ではもっと具体的に述べられています。「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕(しもべ)になりなさい」とあります。実に逆説的な言葉ですが、日本にも似たような言葉がありますね。「稔るほど頭を垂れる稲穂かな」。立場が高い人ほど謙虚になるということは洋の東西を問わない人間の知恵なのかもしれません。

私のCV (その2)

安濃(あのお)小学校で私は6年間を過ごしましたが、最初の4年間は45人クラスで教室は満員状態でした。5年生になるときに転校生があつて、23人の2クラスとなり、マスプロ教育？から急に少人数教育に切り替わると、教室をずいぶん広く感じたものでした。地域性もあつて、ゆったりした教育を受けることができたと思います。

安濃町は三重県でも有数の穀倉地帯です。学校への行き帰りは田んぼ道であり、水を張った水田でタニシやザリガニを捕ったり、用水路に葉っぱの舟を流したり、稲刈りが終わった田んぼで野球をしたりと、田んぼが遊び場の一つでした。今でも田んぼを見るとなんだか心が安らぐのは、それらの体験からでしょうか。

その安濃町にある小学校なので、給食は常に米飯でした。メラミンのお茶碗から箸でご飯を食べます。全学年が同じサイズのお茶碗と箸なので、1年生には持ちにくかったのではないかと思います。月に1回程度パン給食がありましたが、それは「ご馳走」扱いでした。

ちなみに牛乳は瓶入りで、2時間目と3時間目の間に配給され、その時に飲むことになっていました。「10時のおやつ」代わりだったのでしょう。こちら稀に、コーヒー牛乳の素のようなものが配布されていました。

安濃町は、私にとっての根源的場所となっています。(続)

ご意見・ご感想など、なんでもお寄せください…

yutaka.maekawa@kwansei.ac.jp ないし本人に直接…